

防災まちづくり支援 3年間の流れ

※あくまでも一例です。災害リスクや地域の状況に応じて、町会に合った取組を無理なくできる形で実施していきます。

1年目 地域の資源や課題を見つけて情報を発信する

防災講座

まずはや防災まちづくりの開始を報告するとともに地域の災害リスクなどを学びます。



防災アンケート

アンケートを全戸配布し家庭の備えの状況や不安なことなど地域の防災意識を調査します。



防災まち歩き

防災視点でまちを歩き、災害時に課題になるものや役に立つ資源を見つけます。



防災意見交換会

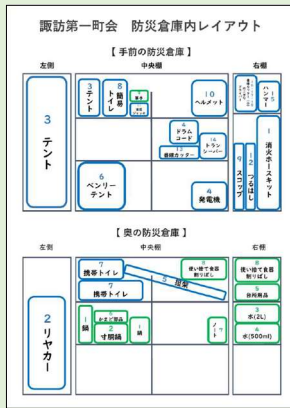
1年目の活動結果から、2年目以降の活動方針や取り組みたいことを考えます。



2年目(例) できることから少しずつ始める

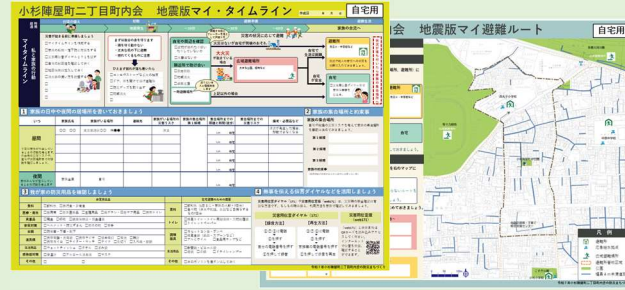
防災倉庫の棚卸し

防災倉庫の物品を整理し、管理しやすいリストの作成や保管場所の見直し、新たに購入・更新すべきものの検討会などを行います。



地震マイタイムライン・マイ避難ルート作成

大地震が発生したときに、危険を避けてどんなルートでどこまで避難するか、個人の避難行動を考えます。



イベント型防災訓練

起震車や煙体験、水消火器訓練、炊出しの他にも、防災クイズや身近なもので防災グッズを作る工作教室などを加えた、お祭りのようなイベント要素がある防災訓練です。



気軽に参加できる雰囲気、親子連れをはじめとした幅広い世代の方に、楽しく防災を学んでもらうことができます。



3年目(例) 活動の継続に向けて取り組む

防災用品の共同購入

消火器や簡易トイレなどの家庭用防災用品の購入申込を、回覧などで募り、町内会でまとめて注文します。

各家庭の備えの強化につながります。



イベント型防災訓練

前回の反省を踏まえ、企画の改良や新しく追加することで、よりよいイベントにしていきます。

町内会だけでなく、地元の事業者や地域団体、学校関係者など関わる人を増やし、防災をきっかけとした地域全体の関係強化を目指します。

町内会の防災まちづくり計画の作成

3年間の活動を振り返り、支援終了後も町内会主体で防災活動を継続していきけるよう、活動の方針や体制をまとめた「防災まちづくり計画」を作成します。

計画は地域の皆さんと話し合いを重ねて作成していきます。